



共に認め合い 現在と未来を創る人

+コンピュータ

で、目標を達成するための教育が加速！



教育の情報化からのアプローチ

相模原の
課題

情報活用能力が高い



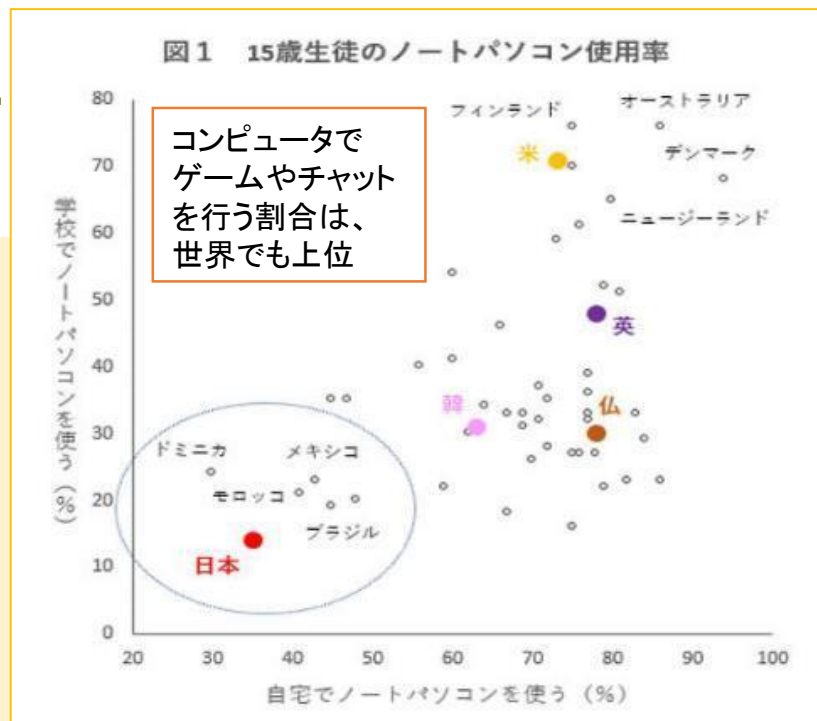
学習と紐づいていない

この課題の解決が学習の課題解決につながる

● コンピュータを勉強に
使える子

やがて

● コンピュータを問題解決に活用できる子



コンピュータで
ゲームやチャット
を行う割合は、
世界でも上位

NEWSWEEK日本版
世界で唯一、日本の子どものパソコン使用率が低下している
2020年1月8日
舞田敏彦 (教育社会学者) が、OECD「PISA2018」より作成
<https://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2020/01/post-92085.php>

今回のコロナで明らかになった問題

全国的な児童生徒の状況

学校に行けなくなった時、
子どもは勉強しなかった



原因

ICTの環境整備ができていない
…も大きな要因であるが…

基本的に学習する、ということに
対しては受け身で、主体的に学
習する、という方法知や問題解
決力を学校で身に付けていない

このような授業の実施
が課題である

目指す相模原市の児童生徒

学校に行けなくなった時、
自分に今何ができるか
自分で考え行動する



問題を見だし、課題を設定して、
解決することを主体的に行うため
の方法知や、能力を学校教育で
育てる

そのような力を育てる
授業の実現 真の主体的・対話的で
深い学び

予測困難な社会において、主体
的に問題を解決していく資質・能
力につながる！

この先目指すべき学校教育

GIGAスクール構想の実現はこのための授業を行うための**必須環境**

GIGAスクール構想の実現がなぜ必須なのか

小中一貫の視点から整理し
各教科等の資質・能力の育成

キャリア教育の推進による
汎用的資質・能力の育成

上記を達成する授業において
クラウドバイディフォルトのコンピューターを活用すると、

- 授業の効率化
- 学習の個別最適化
- 問題解決の選択肢の増加

ICTの機能を活用し、今までできなかった学習課題の解決が実現可能に

目指す相模原市の児童生徒

学校に行けなくなった時、
自分に今何ができるか
自分で考え行動する



問題を見だし、課題を設定して、
解決することを主体的に行うための
方法知や、能力を学校教育で
育てる

そのような力を育てる
授業の実現 真の主体的・対話的で
深い学び

予測困難な社会において、主体的に問題を解決していく資質・能力につながる！

いままでよりも教育の質が高まります！

(参考) 児童生徒が学習活動で活用する道具と授業の段階について ⁴

| | 0 | 1 | 2 |
|-----------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 段階 | 昭和の授業形態 | (コロナ以前まで) 目指されていた状況 | R2以降 全国全ての学校 |
| 相模原市内の現状 | 相模原市のほとんどの学校 | 市内研究校等 | ※ここを目指さなければいけない |
| 児童生徒が個人の意思で授業中に自由に使えるもの | えんぴつ 消しゴム ノート | えんぴつ 消しゴム ノート | えんぴつ 消しゴム ノート コンピュータ |
| 学習課題や学習活動に応じて、教員の判断で活用させるもの | ワークシート ホワイトボード 工具、道具 模型、など | コンピュータ ワークシート ホワイトボード 工具、道具 模型、など | ワークシート ホワイトボード 工具、道具 模型、など |
| 学習活動で必要のないもの | コンピュータ | | |